

健康やまがた安心プラン 歯・口腔の健康

歯と口の健康週間 6月4～10日

健康やまがた安心プランをご存知でしょうか？

このプランは健康長寿やまがたの実現を目指して、健康寿命を延ばすための取り組みを総合的に推進するために、山形県

健康やまがた安心プランが策定したものです。歯質（QOL）を維持・向上させる上で大切な要因となっており、かかりつけ歯科医と一口、歯や歯肉や義歯などでお口の中が具合が悪くなる時、いつも受診する

歯科医とか、たまに歯科健診をうける歯科医というイメージはありませんか。痛みや腫れなどの自覚症状が出たときに受診するのではなく、定期的にかかりつけ歯科医に来院してお口の中のチェックしてもらい、歯のクリーニング・清掃指導な

どのお口の中のケア（予防フェッショナルケア）を受けたいかを大事で

家庭での日々のお口のケア（セルフケア）と歯科医院でのプロフェッショナルケアは「車の両輪」のような関係です。
（鶴岡地区歯科医師会）

〔目標〕

* 歯の喪失防止と口腔機能の維持

- ・ 8020達成者（80歳で20本以上歯を維持している人）の割合
37・0%（H22）→50%（H34）

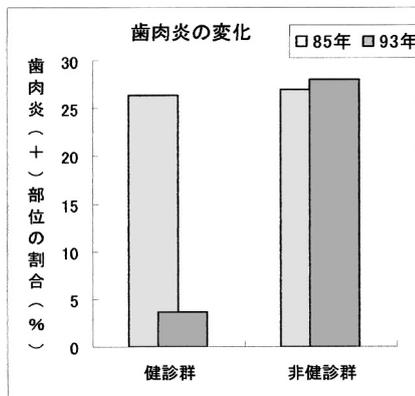
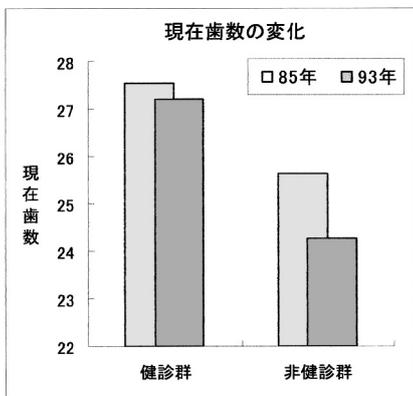
* 乳幼児・学齢期のむし歯のない者の増加

- ・ むし歯のない3歳児の割合
70・2%（H22）→90%（H34）
- ・ 12歳児の一人平均むし歯本数
1・1本（H22）→0・7本（H34）

* 過去1年間に歯科検診を受診した者の増加

- ・ 過去1年間に歯科検診を受診した者の割合
44・6%（H22）→65%（H34）
- ・ かかりつけ歯科医を持つ者の割合
67・9%（H22）→80%（H34）

下図にプロフェッショナルケアの効果の一例を示します。茨城県牛久市で1985年から3年間、歯周疾患に対する追跡調査が実施され、その後、一部の対象者に対して3ヶ月に1回程度のプロフェッショナルケアが行われました（健診群）。開始5年後に、これを受けていなかった人たち（非健診群）と比較する調査を行ったところ、健診群は非健診群に比べて、喪失した歯が少なく、歯肉縁が大きく改善されていたことがわかりました。



健診を受けていると、歯の喪失が少なく、また歯肉炎も改善します。

<文献>瀧口 徹、他：成人および高齢者に対する歯科健康診査の効果等に関する総合研究—自治体における成人歯科健康診査の歯科疾患予防・改善効果判定—茨城県牛久市の疫学的調査に基づいた歯科健康診査の評価—（第一報 事業実施区域評価）, 厚生科学研究報告書 より改変